

お客さま本位の業務運営の取組状況 (フィデューシャリー・デューティー)

玉島信用金庫は、資産運用関連業務におけるお客さま本位の業務運営を実践するために、2017年9月に「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する取組方針について」を公表しました。

この取組方針のもと、当金庫はお客さまの安定的な資産形成および資産運用のお手伝いをしていくとともに、お客さまのニーズに合わせた質の高い金融サービスを提供し、信頼に応えられるよう努めてまいります。

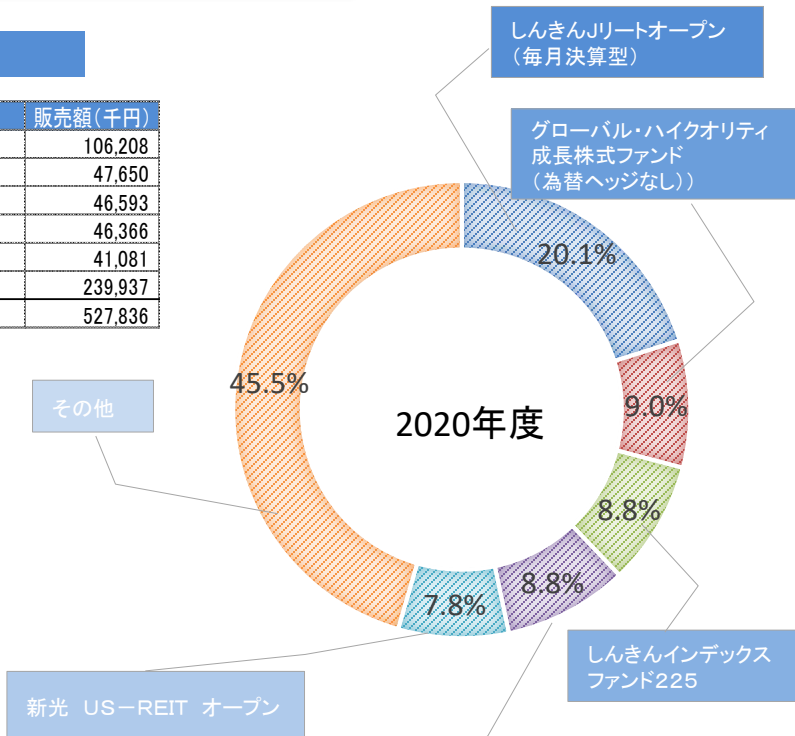
このたび、2022年度の取組状況を、以下のとおり掲載いたします。



投資信託販売実績の推移

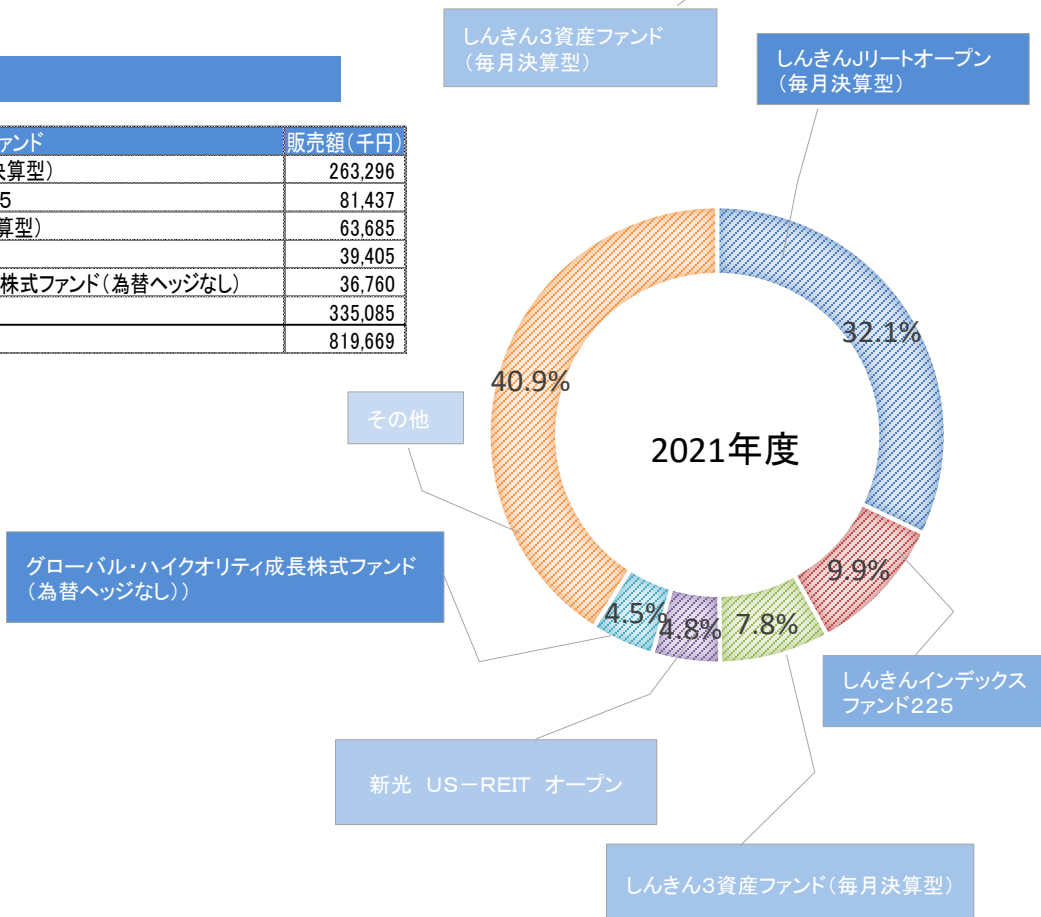
2020年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	106,208
2位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	47,650
3位	しんきんインデックスファンド225	46,593
4位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	46,366
5位	新光 US-REIT オープン	41,081
6位以下	その他	239,937
	合計	527,836



2021年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	263,296
2位	しんきんインデックスファンド225	81,437
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	63,685
4位	新光 US-REIT オープン	39,405
5位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	36,760
6位以下	その他	335,085
	合計	819,669

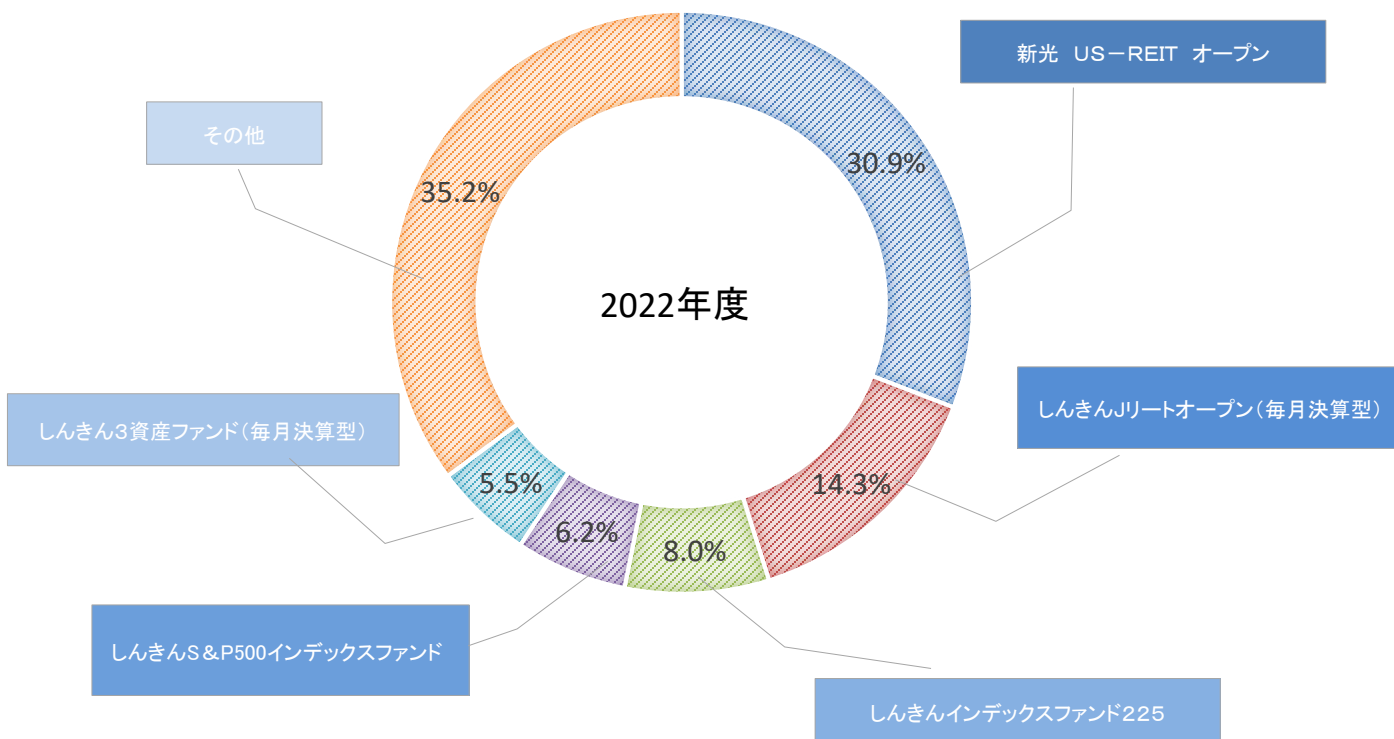


※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資信託販売実績の推移

2022年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	新光 US-REIT オープン	306,401
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	142,274
3位	しんきんインデックスファンド225	79,683
4位	しんきんS&P500インデックスファンド	61,444
5位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	54,123
6位以下	その他	349,049
	合計	992,976

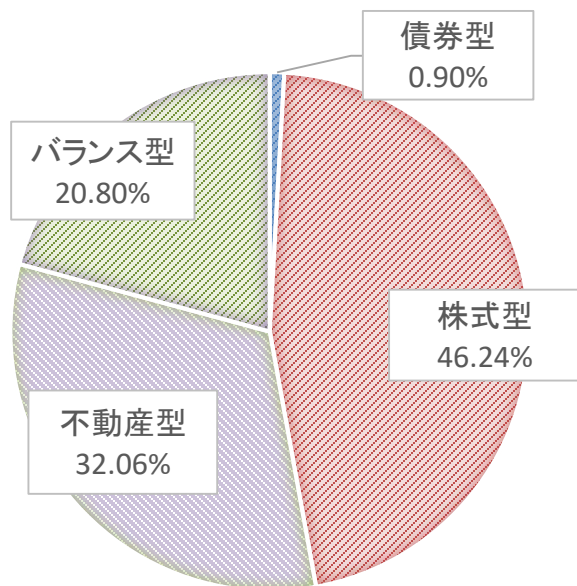


- ・2022年度は、「新光US-REITオープン」が販売実績の上位となりました。また、今年度より当庫で取り扱いを開始した「しんきんS&P500インデックスファンド」も上位となり、全体の販売額の増加（前年度対比約1.21倍）に寄与しております。
- ・引き続き、お客さまのニーズに合わせて幅広い情報提供を行い、お客さまの要望に沿った資産形成および資産運用を提供してまいります。

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

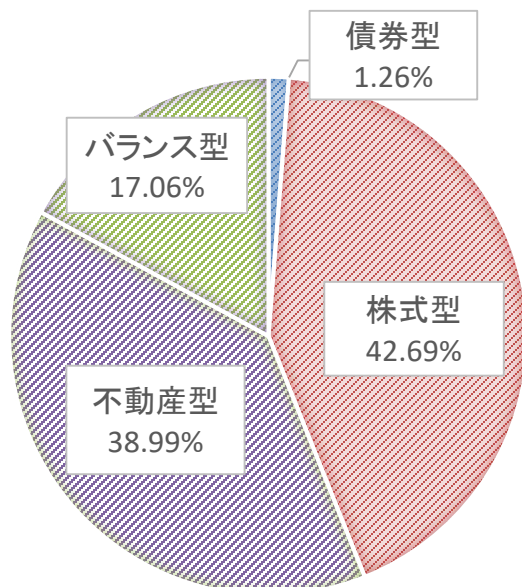
投資対象別販売実績の推移

2020年度販売実績



区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	17	244,064	46.24%
うち、国内	6	90,830	17.21%
うち、国外	6	45,034	8.53%
うち、国内外	5	108,200	20.50%
不動産型	6	169,229	32.06%
うち、国内	2	115,028	21.79%
うち、国外	2	46,081	8.73%
うち、国内外	2	8,120	1.54%
バランス型	9	109,782	20.80%
うち、国内	2	22,346	4.23%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	7	87,436	16.57%
債券型	8	4,760	0.90%
うち、国内	3	3,830	0.73%
うち、国外	3	570	0.11%
うち、国内外	2	360	0.07%
合計	40	527,836	100.00%

2021年度販売実績

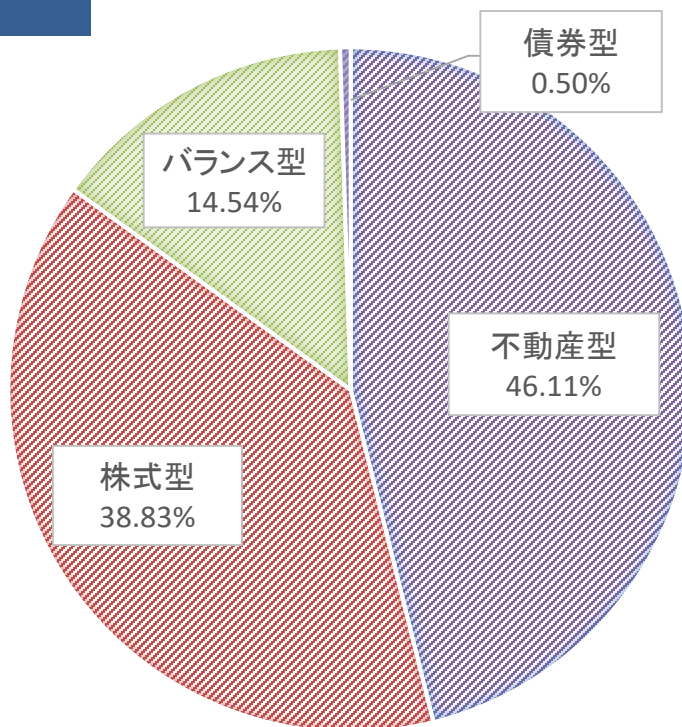


区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	17	349,947	42.69%
うち、国内	6	144,988	17.69%
うち、国外	6	83,116	10.14%
うち、国内外	5	121,843	14.86%
不動産型	6	319,571	38.99%
うち、国内	2	276,176	33.69%
うち、国外	2	41,485	5.06%
うち、国内外	2	1,910	0.23%
バランス型	9	139,819	17.06%
うち、国内	2	12,134	1.48%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	7	127,685	15.58%
債券型	8	10,330	1.26%
うち、国内	3	4,970	0.61%
うち、国外	3	4,000	0.49%
うち、国内外	2	1,360	0.17%
合計	40	819,669	100.00%

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資対象別販売実績の推移

2022年度販売実績



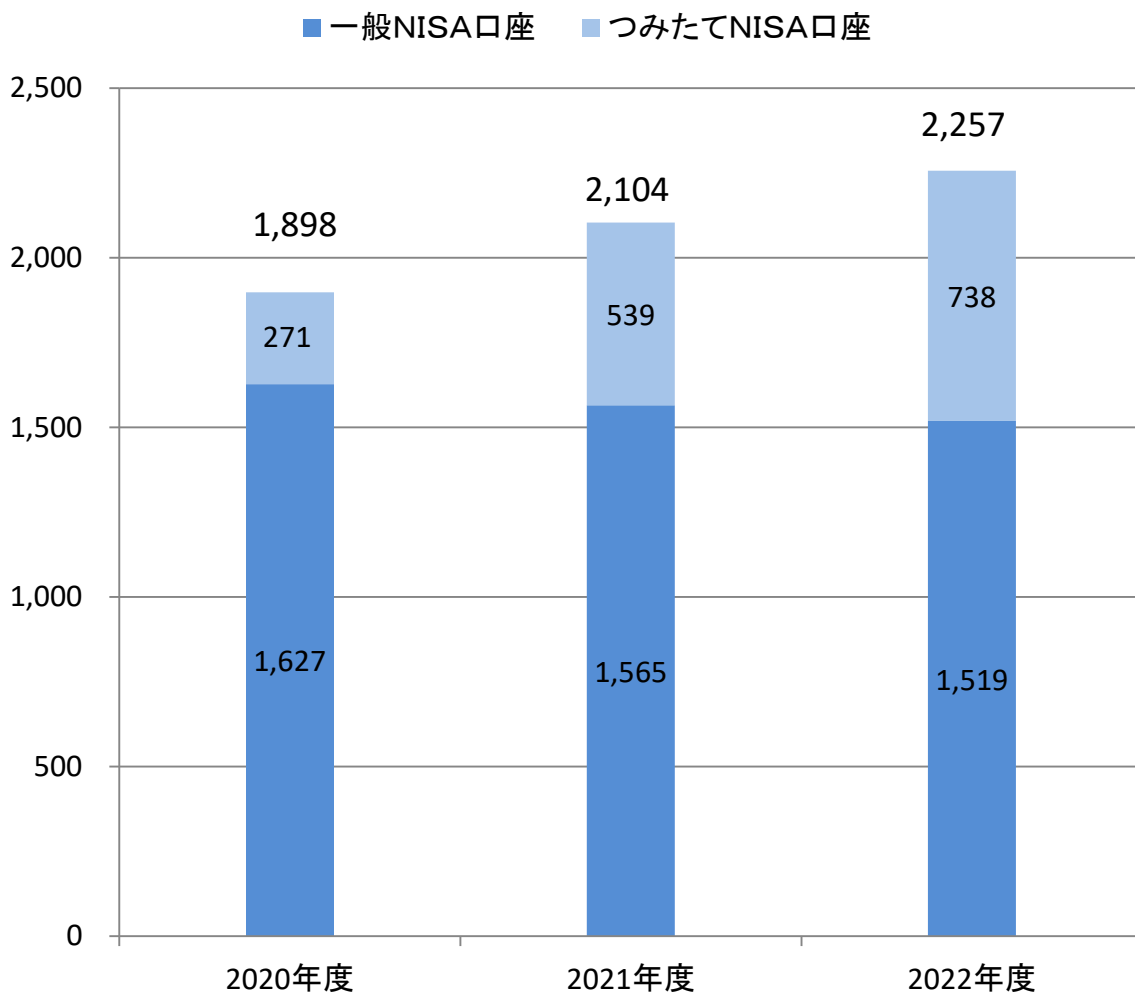
区分	ファンド数	金額(円)	割合
株式型	28	385,658,100	38.83%
うち、国内	9	116,693,000	11.75%
うち、国外	11	211,241,000	21.27%
うち、国内外	8	57,724,100	5.81%
不動産型	6	457,925,741	46.11%
うち、国内	2	146,384,120	14.74%
うち、国外	2	307,821,621	31.00%
うち、国内外	2	3,720,000	0.37%
バランス型	14	144,362,200	14.54%
うち、国内	2	2,140,000	0.22%
うち、国外	1	0	0.00%
うち、国内外	11	142,222,200	14.32%
債券型	16	5,030,000	0.50%
うち、国内	3	4,250,000	0.43%
うち、国外	11	450,000	0.05%
うち、国内外	2	330,000	0.03%
合計	64	992,976,041	100.00%

- ・2022年度は、不動産型投信の販売が多くなりました。不動産型投信の中では、海外の不動産を対象としたファンドを購入されるお客さまが増加しました。
- ・株式型・不動産型いずれにおいても、海外を投資対象としたファンドの販売比率が増加しています。

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

NISA口座数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度
一般NISA口座	1,627	1,565	1,519
つみたてNISA口座	271	539	738
合計	1,898	2,104	2,257



資産形成の基本となる長期・分散・積立投資の観点から、一般NISAからつみたてNISAへ変更するお客さまが増え、一般NISA口座が減少し、つみたてNISA口座が増加しております。

共通KPI

・金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(以下、共通KPI)」に基づき、2023年3月末で算出した数値を公表いたします。

「投資信託運用損益別顧客比率」

「投資信託預かり残高上位20銘柄」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン」

投資信託運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

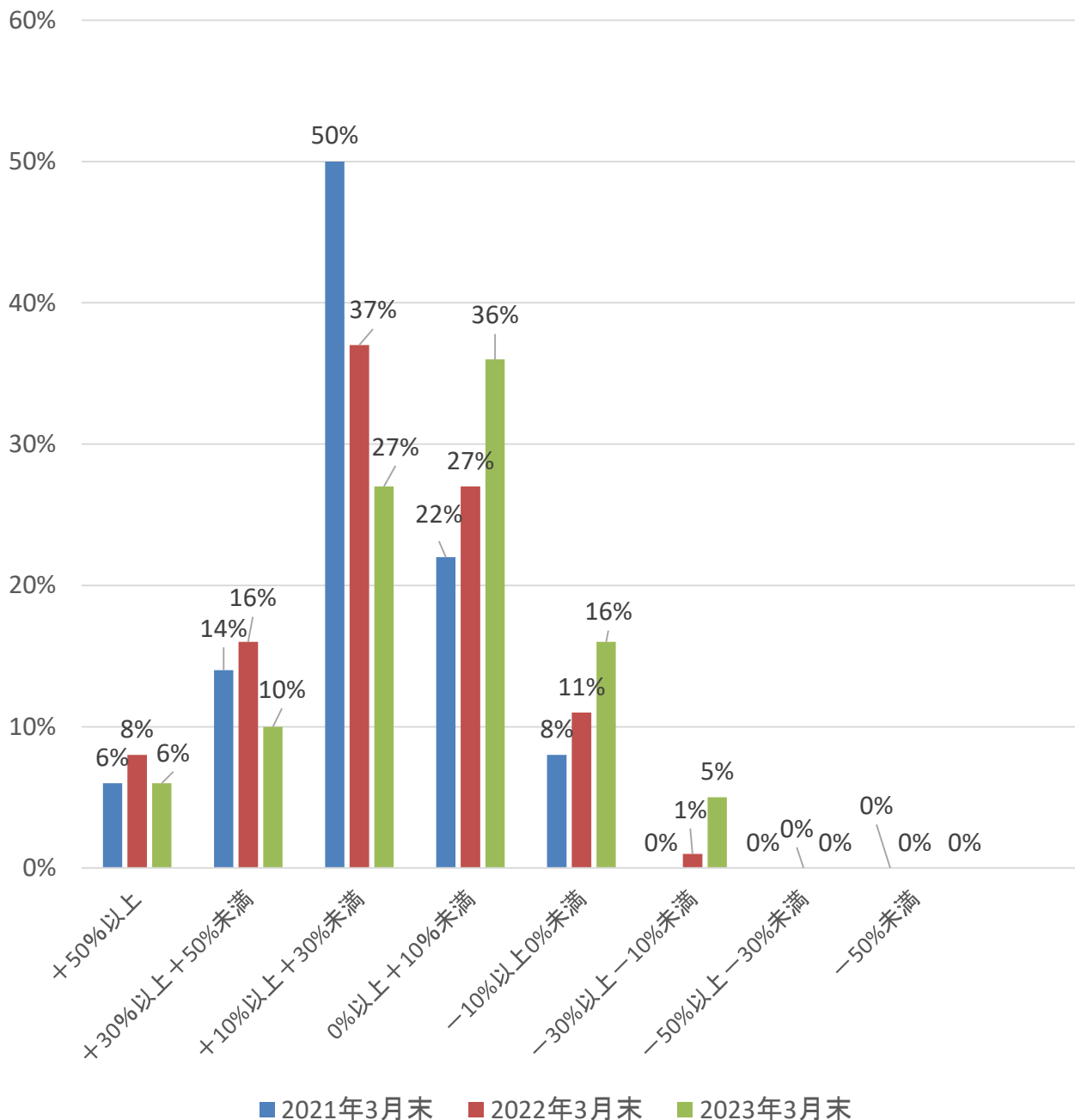
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託運用損益別顧客比率



2023年3月末の運用損益別顧客比率において、運用収益がプラス(0%以上)のお客さまは79%、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまは21%となりました。前年同月末に比べ、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまが増加した要因としては、世界的な物価高と金融引き締めによる内需の下振れに加え、コロナ感染拡大による中国経済の一時的な失速等を背景に、世界経済が緩やかな減速傾向にあったことが挙げられます。また、ロシアのウクライナ侵攻、欧米のインフレ加速と景気悪化懸念なども世界経済に影響を与え、世界マーケットは1年を通して軟調な推移となったことが考えられます。

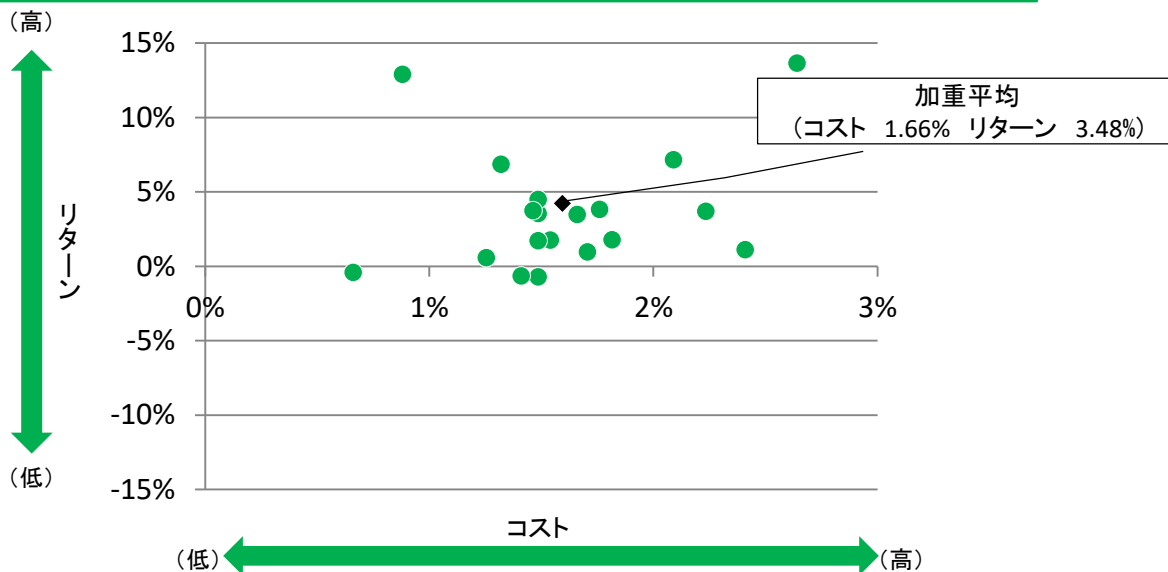
投資信託預かり残高上位20銘柄の詳細

2023年3月末時点

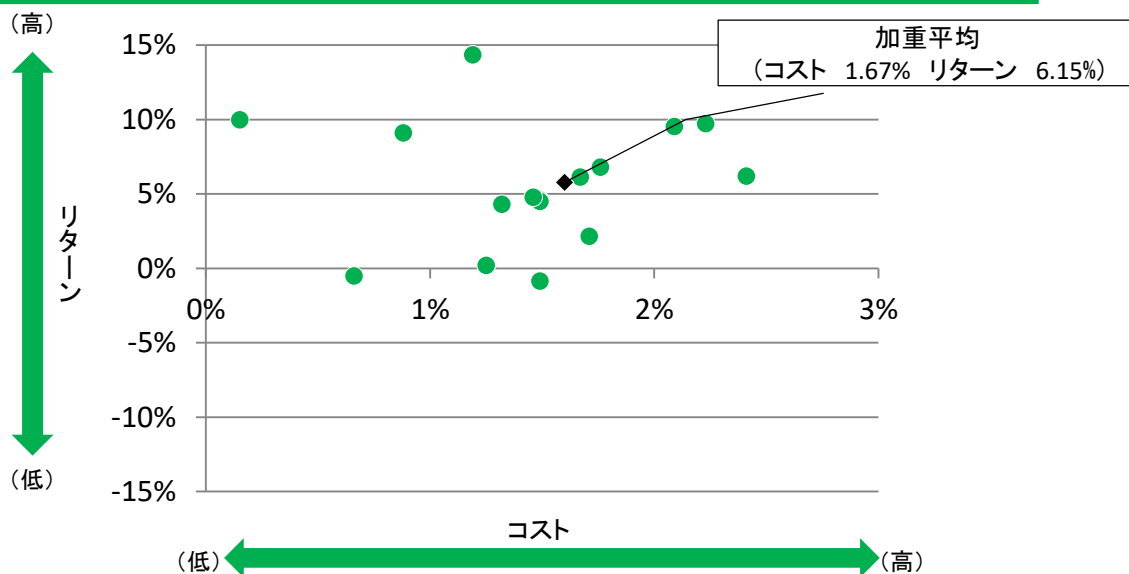
銘柄名	コスト	リスク	リターン
① しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.60%	3.17%
② しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.31%	3.74%
③ 新光US-REITオープン	2.23%	18.22%	7.87%
④ しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.04%	6.60%
⑤ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	4.75%	1.60%
⑥ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	11.00%	4.97%
⑦ しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	22.56%	9.24%
⑧ 三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	20.68%	3.52%
⑨ iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	17.99%	13.46%
⑩ しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	15.39%	4.16%
⑪ たわらノーロードバランス(8資産均等型)	0.14%	10.14%	5.41%
⑫ iFree日経225インデックス	0.15%	17.06%	7.49%
⑬ グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.53%	20.40%	10.03%
⑭ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.19%	18.26%	12.55%
⑮ しんきん公共債ファンド	0.66%	0.95%	-0.72%
⑯ 東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.25%	3.76%	-0.89%
⑰ DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	13.77%	5.48%
⑱ しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	14.58%	3.32%
⑲ グローバルAIファンド	2.59%	27.13%	15.08%
⑳ ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	2.46%	14.48%	9.09%

残高加重平均	コスト	リスク	リターン
	1.59%	14.13%	5.32%

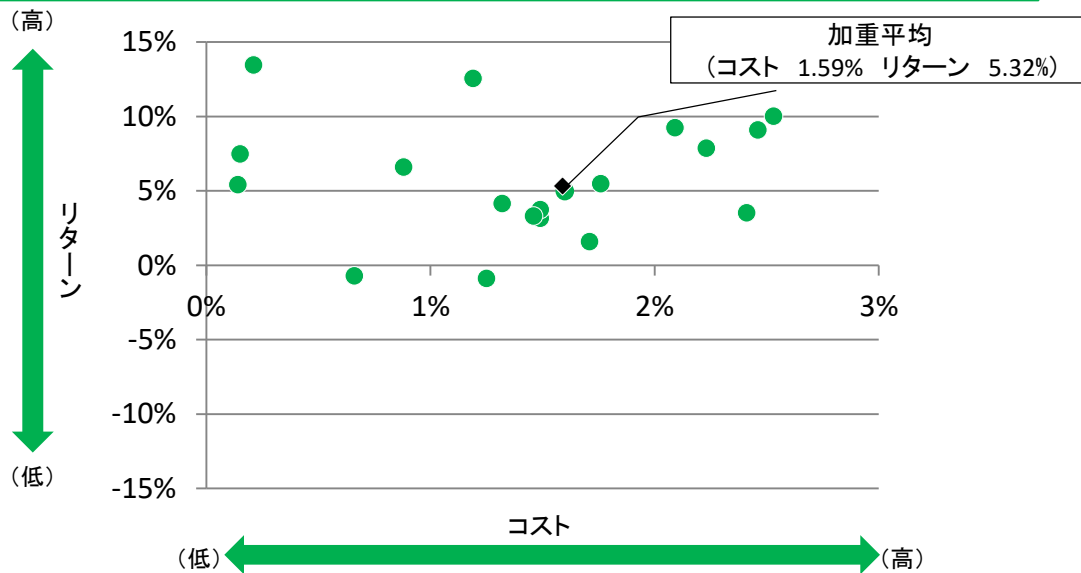
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2021年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2022年3月末時点）

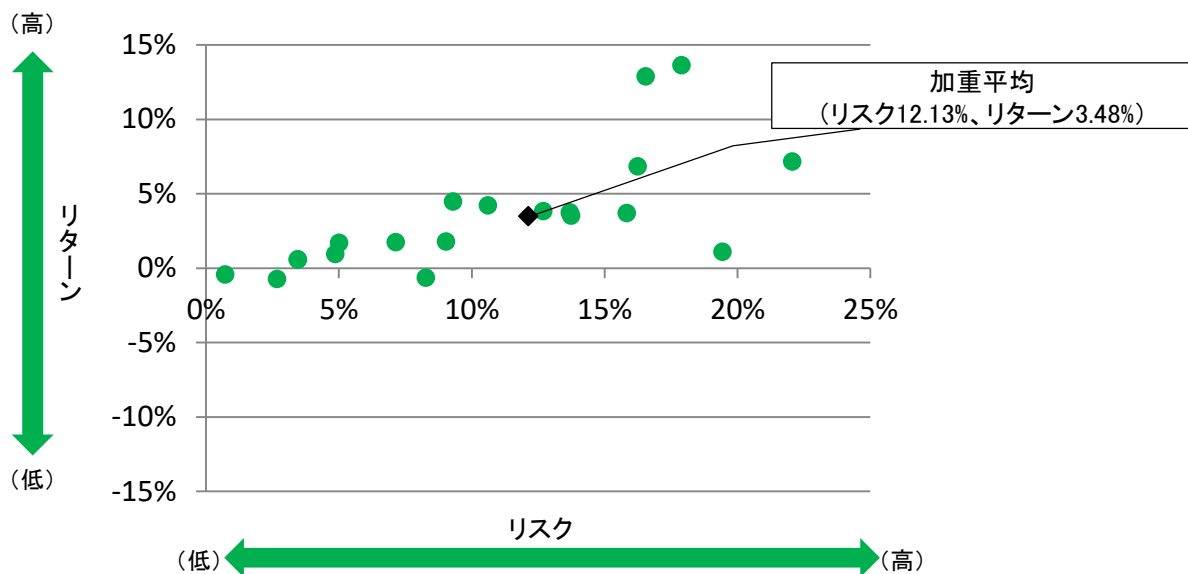


投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2023年3月末時点）

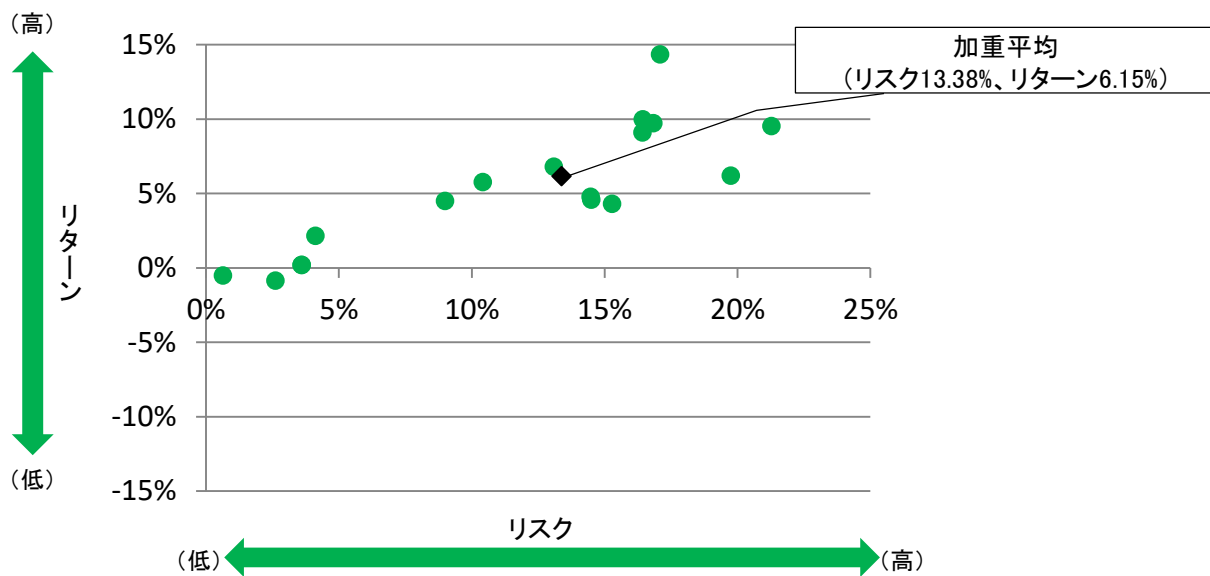


共通KPI

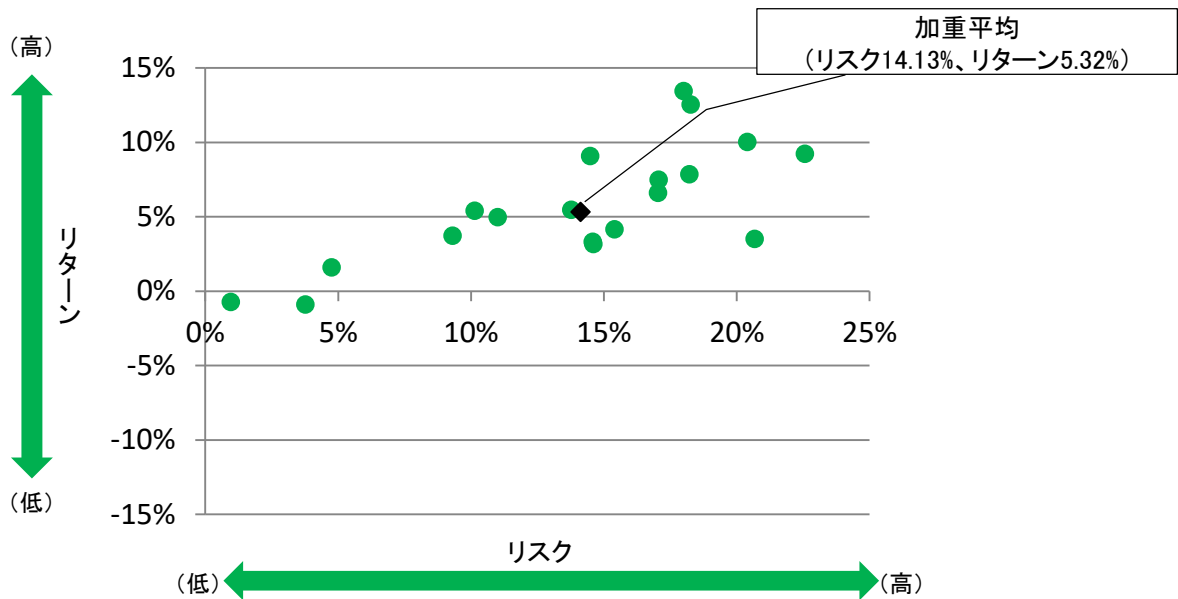
投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2021年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2022年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2023年3月末時点）



- ・投資信託預かり残高上位20銘柄のうち、設定後5年以上の投資信託について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。2023年3月時点の平均コスト1.59% 平均リスク14.13%に対し、平均リターンは5.32%となりました。
- ・上記数値等は、あくまで過去の実績であり、将来の運用益をお約束するものではありません。

資産運用セミナーの開催

2022年度の資産運用セミナーについては、全体やブロック別で開催するのではなく、取引先等を中心に個別で開催しました。(回数:39回、参加者:184名)

ファイナンシャル・プランニング技能士取得者数の推移

(単位:名)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
FP1級	3	3	4	4	4
FP2級	123	123	121	125	114
FP3級	1	4	5	5	5
合計	127	130	130	134	123

証券外務員二種取得者

営業店所属の正職員の取得率は100%となっています。

当金庫は、お客さまの多様なニーズにお応えするため、公的資格取得・職員向け研修・勉強会を通じて、専門的な知識を習得し能力向上に努め、お客さまの資産形成および資産運用のサポートを実践し、信頼に応える職員の育成に努めてまいります。

